

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		総合体育館個人開放				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和58年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都体育施設条例					
	事業対象	区内区外在住・在勤・在学者							
	事業目的	種目を定めて総合体育館を開放し、区民が自主的にスポーツを楽しむ機会を提供する							
	事業内容	台東リバーサイドスポーツセンターの各競技施設において、個人でもスポーツを楽しんだりレベルアップが図れるよう、20種目のスポーツの開放を実施している。							
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	管理運営(指導員配置、消耗品補充等)						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	開催種目	(種目)	20	20	20	20		
		成果指標	延べ利用者数	(人)	179,000	149,075	169,179	177,685	
	決算額 (単位:千円)					2,953	3,197	2,893	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				180	417	426	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				2,953	3,198	2,894	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				3,133	3,615	3,320	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				3,133	3,615	3,320			
前年度から改善した事項	(前年度に引き続き、利用者に満足してもらえる施設運営を心がけ、運営を行った。)								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	利用者数は増加傾向にあり、スポーツを身近に取り組める環境を整備することへのニーズは高い。						
	効率性	4	利用者あたりの経費が減少しており、コストの改善がなされている。						
	手段の適切性	3	本施設を管理運営する指定管理者が実施することにより、より利便性の高い事業運営に努めている。						
	目的達成度	4	水泳場の利用者数やバスケットボール、陸上競技等の区内小中学生の増加が全体の利用者数増の要因となっている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
区民がスポーツを身近に取り組める環境を整備することへのニーズは高く、今後も継続していく。						維持			